

ゴミ減量学ぶ 常滑で講演会



家庭ゴミ減量の大切さを学ぶ講演会が2日、常滑市新開町の市福祉会館で開かれた。同市は10月1日から家庭ゴミの指定袋を値上げする。ゴミ処理手数料が上乗せされるもので、大型袋(45㍑)が10枚入り500円(現行80円前後)、同じく中型(30㍑)は300円(同50円前後)、小型(20㍑)は200円(同40円前後)となる。手数料は基金に積み立ててゴミ処理や環境政策に充てられる。

講演会は値上げをきっかけに、ゴミ減量の意識を市

民に高めてもらおうと、市民グループが開いた。市講師を務めた東洋大学経済学部の山谷修作教授は値上げに関連し、「ゴミを減らせば家庭の負担は少なくすむ。一方で、行政のゴミ処理費用削減や手数料収益により、これまで以上にゴミ減量策を手厚くできる」などと話した。同時に、「手数料が環境政策に充てられることが必要」とも述べた。